

西日本では牛肉が、東日本では豚肉が多く食べられるといわれています。これは総務省の家計調査の結果にも表れていますので、今回は、そのデータを元に、特に牛肉に対する豚肉の消費量の割合をグラフにしてみました。

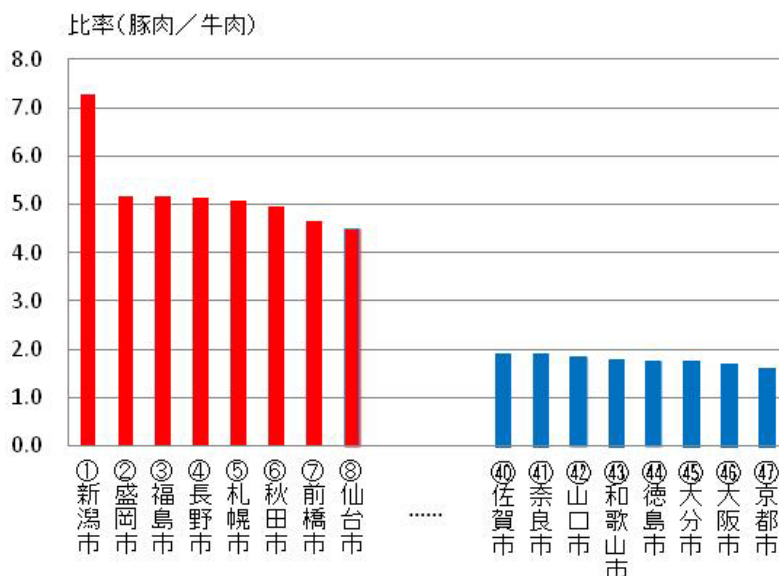
これを見ると、豚肉が牛肉の2倍くらいの県が多い西日本に対し、東日本は4～5倍と、豚肉がよく食べられていることがわかります。実際、すき焼き、肉じゃが、カレーライスなど、西日本では牛肉を使うことが多い料理にも、東日本では豚肉が結構使われているようです。

グラフで山口市と豚肉の割合が突出している新潟市の消費量を比較すると、豚肉は山口市の16.3キログラムに対し、新潟市は22.4キログラムで、山口市の1.4倍です。一方、牛肉は山口市8.8キログラム、新潟市は3.1キログラムで、山口市の3分の1しかありません。

グラフでは、東日本は豚肉をたくさん食べているような印象を受けます。しかし、データは省略していますが、家計調査によれば、豚肉は全国どこでもよく食べられているのに対し、牛肉は西日本で多く食べられ、東日本で少ないという「西高東低」が表れています。グラフで豚肉の比率が高くなるのは、豚肉の消費量が多いというよりも、牛肉の消費量が少なかったためでした。このように、グラフを見るときには、元のデータをよく確認することも大切です。

山口ですき焼きといえば牛肉の家庭が一般的だと思いますが、一度、豚肉のすき焼きも作ってみてはいかがでしょうか。

都道府県庁所在市別豚肉と牛肉の消費量割合



総務省統計局「家計調査(2人以上の世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング2012年から2014年平均」から作成